

狭山が発祥の地

童句

花時計 動いて蝶の とびたてり 堀込武興

図書室の ガラスみがかれ つつじ燃ゆ 高田貞子

這い出して みみず首振る 迷い道 糸賀陽子

みずすまし 床に雑巾 かけるさま 与田久宣

シャツシーツ ばんざいしてる 梅雨晴間 高橋千恵子

しかられて 水てっぽうの 向きかえる 創始者・土家由岐雄

AET CORNER



Melanie Boryskavich (堀兼中学校勤務)

Hello Sayama. I have been in Japan for almost 5 years. One thing that still surprises me is the education of special needs people. My 26 year old brother has Down's Syndrome. He has been able to attend and graduate from a public high school, played floor hockey in the Canadian Special Olympics championships, has a job and a driver's license. He was able to have these opportunities because of the Canadian educational system AND my mother's willpower. I think that he is very lucky. My wish for Japanese "handicapped" students is that they can live a life free from discrimination and full of opportunities like special needs people in Canada.

狭山市の皆さん、初めまして。私は日本に滞在して欲しい15年になります。今でも私が意外に思っていることが障害のある人たちへの教育です。私の26歳になる弟は、ダウン症にかかっています。弟は公立の高校に通い、卒業することができました。カナダの障害者オリンピック選手権ではフロアホッケーの選手としてプレーしました。仕事にも従事し自動車の運転免許証も所有しています。弟はカナダの教育システムと母の深い愛情のおかげでこれらのことを可能にできました。とても幸運だったと思います。日本の障害のある生徒への私の願いは、カナダの障害のある人と同じように不自由なく生活でき、たくさん幅広い機会を持つことができるようにと考えています。(英文の要約)



池原 昭治の

さやまのふるさと

73



三体のお地蔵さん

むかしむかしのお話です。
堀兼の加佐志には「耳たれ地蔵」とよばれる、有名なお地蔵さんがあります。

そのすぐそばに、三体のお地蔵さんが立っておりますが、このお地蔵さんは、村の災難を救ったという事で、大変感謝されております。

ある年のこと、加佐志あたりにやはり病がひろがり、良く効く薬も無く、困り果てました。
村の古老に相談しましたところ

「由緒ある地蔵尊が、石橋の下に埋もれている。これを掘り起こせば、たちどころに病はおさまるであろう。」とお告げがあったそうです。さっそく橋の下を掘り起こしました。

と、どうでしょう！りっぱなお地蔵さんが、三体もあらわれまして、さっそく丁寧に安置いたしました。すると、たちどころに病気は下火となり、村には平和がもどったということです。

このお地蔵さんには、「加佐志」のことを、「風下」と刻まれているそうです。

この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率100%の再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち



[狭山市広報] VOL.551

発行日 / 平成13年6月10日(毎月10・25日発行)
発行 / 狭山市
編集 / 狭山市企画総務部広報課
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5
TEL 042-953-1111(内線7162)
FAX 042-954-6262 テレホンガイドさやま ☎0120-460-380
ホームページ http://www.city.sayama.saitama.jp/